

10月6日(日)開催 第3077回例会
単独例会

ふるさと兵庫 100山

「千刈ダムから大岩ヶ岳(384.1m)へ」

布引支部 福永 誠

写真協力 松本 良一

今回は兵庫県山岳連盟が創立60周年を機に選定した「ふるさと兵庫100山」のひとつ、大岩ヶ岳への山行きです。

集合場所が道場駅であったことから、箕谷に住む小生は、「近いから朝はゆっくりできるなあ！」と勝手に思い込んでいましたが、朝になって改めて案内を見直してみるとなんと『神鉄道場駅』ではなく、『JR道場駅』とはっきり書いてあるではないですか。しかも両駅は同じ『道場』を名乗りながら、直線距離にして3km、歩いて1時間は悠に掛かる距離。慌てて家を飛び出しました。

当初の予定で出ていたら、9月22日に白髪岳へ行ったときのOさんの二の舞でした。(Oさん、引き合いに出してゴメンナサイ！)

閑話休題。



JR道場駅前にて集合・レクチャー風景

余裕を持って(?)午前8時42分に『JR道場駅』に到着。秋の好天に恵まれて、なんと44名もの参加です。誰からともなく、「小学校の遠足みたいやな。」の声。確かに、我々が幼かりし頃は、1クラス40~45人くらいが普通でした。今は平均で30人くらいのです。

さて、駅前で会長よりこの辺りの地形や名所に関する事前レクチャーを受けた後、定刻通り出発、まずは千刈ダムを目指します。

約30分で到着。ここは神戸市が管理する高さ42.4mの重力式コンクリートダムで、上水道供給を目的とした市内最大のダムとか。堰堤は大正8年の竣工で布引五本松ダム、立ヶ畑ダムに続いて建設されたとWikipediaに書かれていました。因みに、前者は布引貯水池、後者は烏原貯水池にあり、どちらも我々には馴染みの深いダムです。



千刈ダムを眺めつつ登山道に向かう参加者

「ゆっくり放水口の優美な曲線とその手前の送水管の曲線とのコントラストを堪能したい」との思いを振り捨てて、ダム直下の橋を渡り、大岩ヶ岳への登山道に入りました。結構な登りですが、皆でワイワイガヤガヤ進むうち、左下に千刈水源が見えてきました。このダム湖の周りには多くの枝垂桜が植樹されており、春には『千刈さくら祭』が催され、一般開放されて多くの人で賑わうとか。来春はぜひこの眼で確かめたいと思いつつ、更なる道を進みます。登山道の土がゴツゴツした岩の多い道に変わり、

最後の岩場を登りきるとついに大岩ヶ岳の頂上に辿り着きました。



山頂から北撮の山々を望む

山頂は決して広くはありませんが、幸いにも先客は少なく、44名全員が360°のパノラマを満喫しながら昼食を摂ることができました。

大病からの驚異的な回復力で元気な姿を見せてくれたMちゃんが、狭い頂上で不安定な足元もものかわ、全員の集合写真を撮影してくれました。「いつも有難うございます。」と心の中で思いつつ、口をついて出るのは無駄口ばかり。同い年のよしみでご勘弁を！



写真撮影には絶好の好天です！



全員が入りきらない集合写真です！

今回は遠方から参加の方もおられることから、東大岩ヶ岳や丸山湿原への周遊は断念して千苅ダムへの最短距離を下山です。登りの急坂も大変ですが、下りの急坂はもっと大変。前でズル、後ろでズル、ちょっと気を抜いた途端、自分自身がズルズル。ご本人の名誉のためにお名前は伏せますが、甲羅を下にした亀のような格好で転び、手足をばたばたさせていた方も若干1名おられました。

やっとの思いで、千苅貯水場正門まで辿り着き、全員で集合写真を撮った後、その場で解散、てんでばらばらに家路につくこととなりました。とは言っても小生を含めた飲み助連中が新開地で再集合したのは言うまでもありません。



全員での集合写真（千苅貯水場正門前）

天候 晴れ時々曇り
担当 例会・自然保護委員会
参加者 44名